

## 第7回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成24年10月31日（水） 16：00－18：00
2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室
3. 出席者
  - (1) 委員  
葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、中須賀委員、松本委員、山川委員、山崎委員
  - (2) 政府側  
白内閣府副大臣、加賀谷内閣府大臣政務官、松山内閣府審議官、西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官 他

### 4. 議事要旨

冒頭、加賀谷政務官から以下のような挨拶があった。

- ・ 7月の委員会設置以降、月2回のペースで精力的にご議論いただき、大変感謝している。
- ・ これまで集中的にご議論いただいた内容を踏まえ、新たな宇宙基本計画に盛り込むべき事項の項目毎に、事務局で作成した内容につき、ご審議いただきたい。
- ・ 内閣府としては、議論を踏まえ、宇宙基本計画の全体を取りまとめて参りたい。
- ・ また、政府としての予算編成時期を迎えており、8月に提示いただいた宇宙予算の見積り方針のフォローアップについて、前回までのヒアリングを踏まえ、次回以降、ご審議いただきたい。

議事の途中から白副大臣が参加され、以下のような閉会の挨拶があった。

- ・ 宇宙政策委員会では、宇宙政策を国家戦略として大所高所から議論されていることに感謝している。
- ・ 先日、前原大臣がつくばのJAXA施設を視察された後、宇宙政策担当の政務三役に対して、宇宙を国家戦略として進めようというご指示があり、大臣の宇宙政策に対する強い意気込みが感じられた。
- ・ 全ての政策に言えることだが、国民をうまく巻き込むように宇宙政策を進めて行ければよいと考えている。
- ・ 宇宙政策委員会では、これから平成25年度の予算編成に向け、宇宙予算の見積りの方針のフォローアップをご審議頂くこととなるが、引き続き積極的な議論をお願いしたい。

### ○新たな宇宙基本計画に盛り込むべき事項

#### (1) 社会インフラ

- ①衛星測位、リモートセンシング、通信・放送について

- ②輸送システムについて
- (2) 宇宙科学・宇宙探査等
- (3) 宇宙空間の戦略的な開発・利用を推進するための横断的施策の在り方
  - ①宇宙利用の推進について
  - ②宇宙産業基盤、研究開発について
  - ③宇宙外交・安全保障について
  - ④人材育成、宇宙教育について
  - ⑤内外の情報収集分析機能の強化について
  - ⑥環境への配慮について
  - ⑦宇宙活動に関する法制の整備について
- (4) 宇宙関連施策を効率的・効果的に推進する方策の在り方
- (5) 宇宙基本計画に基づく施策の推進

上記の議題に関して、事務局から資料1-1～資料5について説明があり、本議題に対して、委員から以下のような意見があった。

- 宇宙科学・宇宙探査について、JAXAの中のISASとJSPeCは重複しており、その役割の整理は不可欠である。また大学の役割も重要。
- 宇宙の利用の拡大のためのコストの低減の手段としては、小型化に加え、量産化、サプライチェーンの効率化なども考慮し、その利用実証や機能実証も考えるべき。また、利用拡大のための研究拠点を整備し、利用コミュニティの形成を人材育成とともに強化すべき。
- 宇宙の利用の拡大のため、市場創出が大事であり、持続的なビジネスの創出が重要。防災・減災での利用にも触れるべき。
- リモートセンシングのデータ利用について、官と民のすみわけについて整理し、官が出すデータを民が使うことで市場を作るという点も重要。
- デブリ除去技術の開発に当たっては、産業化を国際連携で推進していくべき。
- 宇宙外交において、アジアの留学生を受け入れ、育成することは国際貢献として極めて重要。
- 宇宙利用の拡大には、利用省庁が予算をJAXAに流すような抜本的な改革が必要。

資料については委員からの意見を踏まえ一部修正を事務局において加えることと了承された。

以上